

～寄り合って、寄り添って、みんなで育て、みんなで育つ～



長崎市立三原小学校

「誇りをもち、主体的で、自律できる子どもの育成」

～安全・安心を大切にする三原っ子～



MIHARA TIMES

令和6年7月11日発行

文責 校長 増崎 祥宣

## 中国の旅行団との交流を行いました。

7月9日（火）、中国から「小主人報教育旅行団」の皆さんが来校し、交流会を行いました。旅行団の児童の年齢が10歳～11歳が主だということもあり、三原小学校は、4・5年生の児童が代表で交流しました。交流会は、体育館で歓迎セレモニーを行い、あいさつやレクリエーションを行いました。その後、場所を移動して4つのグループに分かれて昔遊びをしながら交流しました。三原小の子どもたちは、事前の準備もしっかり行っていたので、言葉は通じなくても身振り手振りで遊び方を教え、楽しい交流ができました。給食も一緒に食べましたが、中国の子どもたちも「とてもおいしい」と喜んで食べていました。

外国の同じ年代の子どもたちと交流する機会は、あまりないと思います。三原小の子どもたちも積極的に関わろうとする場面がたくさん見られ、とてもいい交流会となりました。



今回の訪問による友好の証として、記念の品を頂きました。

銀の茶器セットと子どもたちが毎月発行している小冊子です。ポストカードの絵も子どもの作品だそうです。

校長室に保管しています。



## 「ココロねっこ運動強調月間がはじまっています。」

長崎県では、青少年の非行防止及び健全育成のため、7月1日～7月31日までを長崎県「ココロねっこ運動強調月間」として、様々な取組を行っています。全県のあいさつ・声かけ運動、家族の時間を大切にする「だんらん」の時間を作ることで、そして、ネット・電子メディアの利用は夜9時までとする「ながさき基準」の徹底に取り組んでいます。

特に、全国的にSNSやインターネット等を利用した犯罪や問題行動も増えていることから、各家庭でも今一度、電子メディア機器の利用については話し合う機会を作ってみるといいと思います。

裏面へ